

## 定住化促進に向けた施策

現在、町営住宅は、管理戸数399戸で、その内270戸はすでに耐用年数を経過しています。このため、老朽化した住宅や団地の改善を図るため「公営住宅等長寿命化計画」を策定し、将来にわたる公営住宅政策についての基本方針を定めます。

また、桂川町独自の新しい取り組みとして、「住宅改修助成制度」を新設しました。町民の快適な住環境の整備及び地域経済の活性化を図るため、町民が町内の施工業者に依頼して行う住宅改修（住宅リフォーム）工事に、予算の範囲内において経費の一部を町が補助します。

これら住環境の整備・充実など、定住化促進に向けた取り組みを強化していきます。

## 子育て支援

今年度、善来寺保育園舎の老朽化による全面的な改修を行いたいとの申し出を受けました。

改修に係る費用は、国の子育て支援対策臨時特例交付金を活用し、国が2分の1、町が4分の1を負担します。より良い保育環境を築いてい

くため、善来寺保育園と十分連携を取りながら進めていきます。

また、「子育て支援の充実」の教育的効果の向上を図るため、図書ボランティア等のご協力を頂き、平成21年度から赤ちゃんの4カ月検診時に実施している本の読み聞かせ（ブックスタート事業）を、今年度から月齢7カ月及び12カ月の乳幼児に對しても検診時に本の読み聞かせ、絵本のプレゼントを行い、親子のつながりや本に親しむ習慣を大切にしたいとたくよう事業を拡大します。

## 教育環境の充実と整備

平成23年度から小学校低学年において30人学級を導入します。義務教育の基礎となるこの時期に、少人数による教育を実施することで、先生の指導が行き届き、子どもたちの将来にとっても大変意義があります。平成23年度は、桂川小学校1学年で4学級、2学年では3学級の編成で、それに伴う教師（講師）2人を町独自に配置し教育の充実を図ります。

また、学校施設の改善については、桂川小学校・中学校が共に築後30年、桂川東小学校は20年を経過している

こともあり、いろいろな箇所での損傷が生じています。財政状況や緊急性等を考慮しながら改善に取り組んでいきます。桂川小学校については、関係者はじめ町民の皆様から強い要望がありました校舎及び体育館の外壁面の黒ずみについて、高圧洗浄を行うことで一定の改善を図ります。

桂川幼稚園については、昨年12月の幼稚園運営審議会からの答申をもとに、職員採用や入園料・授業料の改定、保育所との人事交流などの急を要する課題等について教育委員会と協議しながら、より良い桂川幼稚園の将来像を構築するため、更なる検討を重ねていきます。

## 町立幼稚園

